



平成27年 2015年 新年号 発行/葛飾区 編集/広報課 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111

ふるさとっていいね

渡辺 明さん (将棋棋士)

渡部香生子さん (競泳選手)

倍賞千恵子さん (女優)

LiLiCoさん (映画コメンテーター)

川畑 要さん (歌手)

対談・インタビューの模様をJ:COM東葛・高飾(地上デジタル放送11チャンネル)、かつしかFM(78.9MHz)で放送します。詳しくは4面をご覧ください。



葛飾区長 青木克徳

新春対談

映画「男はつらいよ」シリーズの寅さんの妹・さくら役でおなじみの倍賞千恵子さんをお迎えしました。対談は映画の舞台となった柴又にある、山本亭で行いました。



倍賞千恵子さん



1941年6月29日生まれ。松竹音楽舞踊学校を首席で卒業後、松竹歌劇団(SKD)へ入団。柴又を舞台にした映画「男はつらいよ」シリーズでは全作品で、寅さんの妹のさくら役を演じた。数々の映画に出演し、日本アカデミー賞主演女優賞を始め、多くの映画賞を受賞。紫綬褒章(2005年)に続き、2013年には旭日小綬章を受賞。

帝釈天でお参りするのが楽しみでした

区長 映画「男はつらいよ」の第1作の公開は昭和44年でした。当時と比べると柴又もだいぶ変わりました。

倍賞 当時は、素朴な印象でした。帝釈天の参道が土で、雨が降ると泥の跳ね返りがすごかったです。今はそういうことはなくなっていて寂しい気がしますね。帝釈天の中に入るととてもほっとして。撮影の度にお賽銭を入れてお参りするのを楽しみました。

区長 昭和の田舎の雰囲気が残っていましたね。

倍賞 土手なんか風が吹くと砂ぼこりがすごくて、それを避けて撮影していました。

区長 先日、山田洋次監督にお会いした時「土手をコンクリートにするのはけしからん」と言われました。土手の道は整備しないと歩きづらい、でも風情がなくなってしまう。最近はその

昔の面影を残す柴又は地元の方々の努力の結晶

いふことにも配慮しながら整備を進めています。

倍賞 参道のお店屋さんに山田さん(山田洋次監督)が「店の裏側はどんな風に変えてもいいから表側は変えないでください」とお願いしたそうですね。街の良さを残したいと思われたのでしょうか。

お店の皆さんが街を守ってくださっている。だから柴又は訪れた方がほっとするし、来てみたいと思う街なんです。

区長 街の良さを残す取り組みは、最初はお店の人たちから、いろいろな意見が



あつたりして大変でしたけれど、みんなで意見を出し合って、最終的に商売を長く続けられる、より良い街にできる、ということまで街並みを守るためのガイドラインができました。山田監督の思いが通じたんだと思います。

私もすごく印象に残っています。あの時、纏を持たせてもらってやってみたら、すごく重たくて。何年もたつて当時出演してくださった柴又の皆さんに会ったら「え!?」っていうくらいお互い白髪が増えてました(笑)。ロケで来る度に長く続いている映画だとしみじみ感じていましたね。

日本人独特の人情があふれている「男はつらいよ」

区長 1作目の地元の方が参加している纏のシーンが印象に残っています。それぞれの役者さんも一生懸命やられていて。さくらさん、すごくおきれいで。

倍賞 若々しくて?(笑)

年頭に当たって

葛飾区長 青木克徳

明けましておめでとうございます。この新年号では、各界で活躍されている葛飾にゆかりのある方に、葛飾を語っていただきました。この企画でも倍賞千恵子さん、川畑要さんとお話をさせていただきました。こんなにも「葛飾」を愛してくれているというのを感じました。区民の皆様もこの紙面を通して感じていただけたらと思います。

葛飾は、下町人情にあふれ、地域における人々の絆が強い土地柄です。この紙面で紹介させていただいた方からも「人のつながりを大切にしている街」を感じるエピソードをお話していただきました。これこそが葛飾の一番の魅力であると思っております。

このため、私は、区の取り組みだけではなく、下町葛飾の人情や絆をあらゆる分野に生かして、区民・事業者・区が協働して、さらに葛飾の魅力を高めていきたいと強く思っています。

結びに、本年が皆様にとりまして、心豊かに安心して暮らせる年となりますことを祈念しまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

※4面に続く